

7つのキーポイント				教科	算数	単元名	順番にならべよう	
1 学習態勢	1	5 表出性のコミュニケーション	1	単元の目標			順序性の理解、絵や数字等の弁別力の向上、学習態勢の基礎を形成する。	
2 指示理解	1	6 模倣	2	本時の目標			指示棒や指差しへの注目、左から右への順序性を意識してカードを並べる。	
3 セルフマネージメント	2	7 注視物の選択	1	本児の目標			<ul style="list-style-type: none"> 教師の指示棒や指差しを見て、そこに対応するカードを貼る。 片手で教材を操作する。 	
4 強化システムの理解	1	平均	1.2					
授業の内容	全体への手だて		本児の目標	本児への手だて	K P	評価	改善点・次の目標	
「あたまのじゅんびうんどう」 ・バランスボールを使った簡単な運動（4～5種類）	<ul style="list-style-type: none"> 手本を見せる。 必要に応じて体を支えるなどの補助をする。 		・教師と同じ姿勢をとる。	・前で手本を見せる。動きのポイントとなる部分を言葉かけする。	⑥	○手本を見て同じ姿勢をとることができた。	・引き続き、同じ手続きで行う。	
			・姿勢が崩れそうになったときに自分から戻す。	・腰を動かして姿勢を立て直そうとしたときに褒める。	①	▲バランスを崩れそうになったときに、足で転ばないように支えていた。		
「すうじのうた」 ・曲に合わせて数字カードを順番にマッチング	<ul style="list-style-type: none"> 順番を意識できるように席の順にカードを渡す。 カードを貼る箇所を指差しする。 		・右端に数字カードを貼る。	・貼れない場合は指差しする。	⑦	○指差しすることで、正確な場所に貼れた。		
「べんきょう」 ・個別の課題学習 本児の課題 ・絵のマッチング ・ペグ差し（抜き） ・キューブ差し（抜き） ・○△□の型はめ	<ul style="list-style-type: none"> 個々の児童の実態に応じた課題を用意する。（課題の内容や数、量は個々によって異なる。） 		・左から順に絵カードをマッチングする。	・指示棒で貼る（差し、抜く）箇所を示す。残り2つほどになったら指示棒で示すのを控える。	⑦	▲指示棒で指示し続けたが、手元のみを見ていることがあった。	・指示棒で示したカードを取った瞬間に褒めるようにする。	
			・左から順にペグを差す（抜く）。	・差し位置を毎回変える。	②	○ペグを指差すと、それを抜くことができた。	○キューブの位置に合わせて棒を動かすことができた。	
			・教師の持つ棒（キューブ）の位置に合わせて、キューブ（棒）を差す。	・もう一方の手を置くように身体ガイドする。	①	○キューブの位置に合わせて棒を動かすことができた。	▲棒を持っていない手で、教師の持つキューブを取ろうとすることがあった。	・始めから一方の手をガイドする。
			・片手で棒やキューブを操作する。（もう一方の手は机の上に置く。）	・違う場合は無言で取り除き、指差しし続ける。	②	▲数回、直すように促す必要があった。	▲指差しを見ずにブロックを取る必要があるため、はめる穴とブロックを上下で対応するように提示する。修正の手続きは同様に進行。	
			・はめるブロックを間違えたときに直す。	・はめる箇所と対応しないようにブロックを並べて提示する。	⑦	▲指差しを見ずにブロックを取るがあった。		
			・指差しされた箇所のブロックをはめる。					